

平成30年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	原子核乾板 ―基礎研究・分野横断研究への21世紀的展開―
研究代表者	中村 光廣 (名古屋大学・未来材料・システム研究所・教授)
研究期間	平成30年度～平成34年度
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>本研究は、サブミクロンの位置精度と 1mrad 以下の角度精度を誇る原子核乾板の大量生産技術の開発、高速読み取り技術の開発、及び高速画像処理技術の開発を行い、2020年代前半までに、従来の10倍にあたる年間10,000平米の実験遂行能力を獲得することを目的とする研究である。</p> <p>これにより、火山の透視を行うミュオンラジオグラフィや、ニュートリノの階層性の確定に必要な低いエネルギーのニュートリノ反応の測定等、これまで不可能であった観測が可能になり、広い分野でブレークスルーをもたらすと期待できる。</p>